

シラバス

指定番号 120

商号又は名称：社会福祉法人大阪キリスト教女子青年福祉会

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・理論や法的根拠に基づく介護の基本的な考え方を習得できるように指導する。 ・介護技術の根拠となる「こころのしくみ」と「からだのしくみ」に関する知識を習得できるように指導する。 ・安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できるように指導する。 ・尊厳を保持し、その人の自立および自律を尊重し、もてる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得できるように指導する。 ・生活の各場面での介護について、事例を通じて、生活支援を提供する流れを理解し、技術を習得できるように指導する。 ・利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点を習得できるように指導する。 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護の基本的な考え方	3	3	0	〈講義内容〉 <ul style="list-style-type: none"> ・理論に基づく介護 「介護」が理論的にどのような変遷をたどってきたかについて理解する。 ・法的根拠に基づく介護 「介護」が法的にどのような変遷をたどってきたのかについて理解する。 (演習) ・身近な事例を用いて、グループディスカッションを行う。
② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	3	3	0	〈講義内容〉 <ul style="list-style-type: none"> ・学習と記憶に関する基礎的な知識を理解する。 ・感情と意欲に関する基礎的な知識を理解する。 ・自己概念と生きがい、老化や障がいを受け入れる適応行動とその阻害要因 自己概念と生きがい、老化や障がいの受容に関する基礎的な知識を理解する。
③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	7	4	3	〈講義内容〉 <ul style="list-style-type: none"> ・人体の各部の名称と働きに関する基礎知識、骨・関節・筋に関する基礎知識とボディメカニクスの活用 骨や関節など、からだの働きメカニズムを理解する。 ・中枢神経と体性神経に関する基礎知識、神経の種類と、その働きを理解する。 ・自律神経と内部器官に関する基礎知識 からだの器官の働きを理解する。 <通信学習課題> <ul style="list-style-type: none"> ・からだの基礎知識。ボディメカニクスの基本原理。
④ 生活と家事	7.5	5.5	2	〈講義・実技演習〉 <ul style="list-style-type: none"> ・生活と家事の理解 生活を継続していくための家事の重要性について学ぶ。 ・家事援助に関する基礎知識と生活支援 家事援助は利用者にとってどのような意味があるのかを理解する。 (実技演習) ・家事援助とは何かについて具体的な事例の実技演習をとおして学ぶ。 <通信学習課題> <ul style="list-style-type: none"> ・家事援助の意味と具体的内容。家事援助の留意点とポイント。

⑤ 快適な居住環境整備と介護	4	4	0	<p>〈講義〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・快適な居住環境に関する基礎知識 安心して快適に生活するために必要な環境の整備とは何かについて学ぶ。 ・住まいにおける安心・快適な室内環境の確保の仕方を学ぶ。 ・高齢者・障がい者特有の居住環境整備と福祉用具の活用 高齢者や障がいのある人が生活するなかで、住宅改修や福祉用具を利用する意味や視点を学ぶ。 <p>(実技演習) ・福祉用具の活用方法及び支援技術を学ぶ。</p>
⑥ 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	4. 5	4. 5	0	<p>〈講義・実技演習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整容に関する基礎知識 整容の必要性和関連するところとからだのしくみを理解。 ・整容の支援技術 利用者本人の力を活用し、整容の介護を行うための技術を理解する。 <p>(実技演習) ・着脱介助等の介護技術を学ぶ。</p>
⑦ 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	4. 5	4. 5	0	<p>〈講義・実技演習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動・移乗に関連する基礎知識、福祉用具とその活用法 移動・移乗の必要性和関連するところとからだのしくみを理解する。 ・利用者・介助者にとって負担の少ない移動・移乗の支援 利用者本人の力を活用し、移動・移乗の介護を行うための技術を理解する。 ・移動・移乗を阻害する要因の理解とその支援方法 心身機能の低下が移動・移乗に及ぼす影響を理解する。 <p>(実技演習) ・移動・移乗の介助技術を学ぶ。</p>
⑧ 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	5. 5	5. 5	0	<p>〈講義・実技演習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事に関する基礎知識 食事の必要性和関連するところとからだのしくみを理解。 ・食事環境の整備と食事に関連する用具の活用方法 利用者本人の力を活用し、食事の介護を行うための技術を理解する。 ・楽しい食事を阻害する要因の理解と支援方法 心身機能の低下が食事に及ぼす影響について理解する。 <p>(実技演習) ・食事の介助技術を学ぶ。</p>
⑨ 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	8. 5	6. 5	2	<p>〈講義・実技演習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入浴・清潔保持に関連する基礎知識 入浴・清潔保持がもたらす心身への効果と、入浴に関連するところとからだのしくみを理解する。 ・入浴・清潔保持に関連する用具の活用方法 利用者本人の力を活かし、楽しい入浴の介護を行うための技術を理解する。 ・楽しい入浴を阻害する要因の理解と支援方法 心身機能の低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響を学ぶ。 <p>(実技演習) ・足浴、清拭、入浴等の介助技術を学ぶ。</p> <p><通信学習課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入浴・清潔保持の基礎知識。入浴介助。清拭。
⑩ 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	5. 5	4	1. 5	<p>〈講義・実技演習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排泄に関する基礎知識 排泄の必要性和関連するところとからだのしくみを理解する。 ・排泄環境の整備と関連する用具の活用方法 ・爽快な排泄を阻害する要因の理解と支援方法 心身機能の低下が排泄に及ぼす影響について理解する。 <p>(実技演習) ・利用者本人の力を活用し、気持ちの良い排泄の介護を行うための介助技術を学ぶ。</p> <p><通信学習課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・排泄の基礎知識。排泄介助。

⑪ 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	5	3. 5	1. 5	<p>〈講義・実技演習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 睡眠に関する基礎知識 睡眠の必要性と、睡眠のこことからだのしくみを学ぶ。 睡眠環境の整備と関連する用具の活用方法 心地よい安眠を支援するための知識と技術を身につける。 快い睡眠を阻害する要因の理解と支援方法 心身機能の低下が睡眠に及ぼす影響について理解する。 <p>(実技演習) ・心地よい安眠を支援するための環境整備と技術を学ぶ。</p> <p>〈通信学習課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 睡眠に関する基礎知識。睡眠環境。睡眠不足の影響。
⑫ 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	6	4	2	<p>〈講義・実技演習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 終末期に関する基礎知識 終末期のとらえ方を学ぶ。 生から死への過程 終末期から死までの身体機能の変化について理解し、状況に合わせた対応を学ぶ。 「死」に向き合うこころの理解 死に直面したときの人の心理状況について理解し、こころの変化の受け止め方を学ぶ。 <p>(実技演習) ・ターミナルケアについてグループワークをとおして学び、介護者としての基本的態度を学ぶ。</p> <p>〈通信学習課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 終末期に関する基礎知識。キューブラ・ロスの死を受容するプロセス。
⑬ 介護過程の基礎的理解	3. 5	3. 5	0	<p>〈講義・実技演習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護過程の目的・意義・展開 介護過程の目的と意義について理解する。 介護過程の展開プロセスについて理解する。 介護過程とチームアプローチ チームアプローチにおける介護職の役割と専門性について理解する。 <p>(実技演習) チームアプローチについて事例をとおして学ぶ。</p>
⑭ 総合生活支援技術演習	7. 5	7. 5	0	<p>〈実技演習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 事例をとおして、生活の各場面での介護について、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得を学ぶ。 事例をとおして、利用者のこころとからだの力が発揮できない要因を分析する。 事例をとおして、利用者本人にとって適切な支援技術は何かを検討する。 事例をとおして、利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点について理解する。
(合計時間数)	7 5	6 3	1 2	

使用する機器・備品等	実技演習使用備品一覧表（別添2-6）に記載した備品を使用
------------	------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。